

令和8年3月8日執行

奥州市長選挙 及び 奥州市議会議員選挙公報

奥州市選挙管理委員会

3月8日(日)

投票時間 午前7時から午後7時まで

投票所 投票所入場券に記載されている投票所

投票用紙 市長選挙 記号式(○を書く)
(期日前投票、不在者投票、点字投票では、候補者氏名を書きます)

議員選挙 自書式(候補者の氏名を書く)

期日前投票制度を活用しましょう

次のどの期日前投票所でも投票することができます。

開設期間	投票所	開設時間
3月2日(月)～3月7日(土)	奥州市役所本庁 1階	午前8時30分～午後8時
	奥州市役所江刺総合支所 1階	
	奥州市役所前沢総合支所 3階	
	奥州市役所胆沢総合支所 2階	
	奥州市役所衣川総合支所	
	イオン前沢店 2階	
	コープアテルイ 2階	午前10時～午後8時

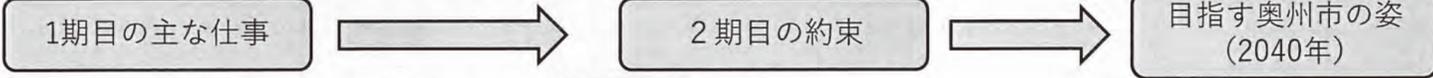
令和8年
3月8日執行

奥州市長選挙公報

奥州市
選挙管理委員会

未来への希望を抱く奥州市へ

公共の三本柱（医療・教育・交通）を守り、8つの未来羅針盤プロジェクトを推進し、希望ある奥州市を目指します。



- 1期目の主な仕事**
- ▶市立病院建替え問題を新医療センター構想として市議会に提案し、承認されました。
 - ▶まちづくりのビジョンとして未来羅針盤図を提示し、具体的に政策を推進しました。
 - ▶子育て世代のために産前産後ケアを充実させました。
 - ▶健全財政の維持に努めました（財政調整基金80億円を維持、将来負担比率は28.1%で3年前より4割の負担減少させました）。
 - ▶稼ぐ力（ふるさと応援団寄付や国交付金の活用など）を図るとともに、おうちゅうたろうやインスタグラムによる情報発信に努めました。

倉成じゅん プロフィール

- 昭和31年8月奥州市生まれ（69歳）*姉小中学校、水沢南中学校、水沢高校を経て、昭和54年3月 北海道大学農学部卒業
- 平成15年～平成21年 米国カルビス社長
- 平成21年～27年 カルビス株式会社執行役員
- 令和4年～ 奥州市長、令和6年度東北市長会副会長

提言1

- 計画の通り市立病院を建替え、新医療センターを設立します。**
- ▶まごころ病院、前沢・衣川の診療所を残します。
 - ▶市立病院、診療所、県立胆沢・江刺病院との連携のもとに、市民のいのちと健康を守ります。
 - ▶産前産後ケアのトップランナーとして子育て世代の皆さんを守ります。

提言2

「地域医療奥州市モデル」や「小さな拠点づくり」など未来羅針盤図の8つのプロジェクトでまちづくり・仕事づくりのビジョンを具体化します。

地域医療

- ▶公立病院間の連携による高齢者救急、包括ケア、遠隔医療の環境が整備される。

産業振興

- ▶農業は、担い手が確保され、平場の大型農業経営と中山間地の環境保全農業の融和が図られる。
- ▶ものづくりは、国際リニアコライダー（ILC）研究施設の加速器技術により新半導体産業が活性化される。
- ▶南部鉄器などの伝統工芸品の海外進出が拡大する。

まちの賑わい

- ▶未来羅針盤図に示されたビジョンが実現する。



くらなり
倉成じゅん

なんでも話そう出前市長室！ 市内30地区センターごとに開催。
市長直轄プロジェクトの出張懇談会の経験を活かし、話せる市政、聞く市政を推進します。

市民と創る 奥州市の未来

飛躍への責任！
3つの約束

- 地域の特性・個性を活かした輝きがあふれるまち **奥州**
- 産み育て、住み続ける喜びと楽しさを感じるまち **奥州**
- 地元産業支援と生活インフラ整備で安心・安全なまち **奥州**

ごうこん浩が奥州市の未来を拓く！ 政策提言

子育てするなら奥州

- 産科の設置・小児科の入院施設の拡大。市民のみなさんの切実な想いに応えるために、諦めず何としても実現へ
- 屋内の子どもの遊び場づくり
- 小中学校の給食費無償化
- 放課後児童クラブをすべての希望者が利用できるよう拡大

農業再生と担い手育成

- 重要課題である後継者・担い手不足に対応する「耕す人を育てる、支える、繋げる」取り組みを進め、新規就農者支援を拡充
- 鳥獣被害対策室を設置し、ガバメントハンター等の専門職員を配置することで、現場の課題解決を目指す

市民と創る「対話型まちづくり」

- 地域の課題や提案を直接聞き取る「奥州ミーティング」を創設し、市民のみなさんの声を施策に反映する「対話型まちづくり」を実現
- 地域ごとの課題解決に向けた予算配分

県と市の連携強化で、地域を支える行政へ

- 県と市の機能分担や支援体制の再構築を行い、県と市の「相互補完」の仕組みを創る
- 新たな工業高校の奥州市への誘致と産業技術短期大学校水沢校の拡大に取り組み、学びと仕事がつながる環境づくりを推進

水沢公園に建設予定の新医療センター 現計画の見直しと地域医療の再設計

- 「奥州型医療モデル」の再構築・早期実現
- 地域の実情と将来人口に照らし合わせ、過度な財政負担を避ける医療体制の構築
- 市民にとって大切な場である水沢公園への建設には反対

暮らしを支える都市基盤の強化

- 150周年を迎える水沢公園を再整備し、県下に誇る市民の憩いの場に
- 奥州市公共交通局(仮)を設置し、高齢の方などの買い物と移動手段の支援を含む、全ての市民が市内を移動できる環境を推進

市議4年、県議18年の経験と人脈を総動員し、
国、県とのパイプで奥州市の飛躍を実現

政策の詳細・
日々の活動は
ウェブサイト、
SNSから！



奥州市長候補者
ごうこん浩 ひろし

令和8年
3月8日執行

奥州市議会議員選挙公報

奥州市
選挙管理委員会

奥州市に新しい風を!

持続可能な奥州市を

★ 地域医療を守る

- 新医療センター整備の推進
- 周産期医療の充実

★ 財政健全化

- 『あれもこれも』から『あれかこれか』へ
- 財政調整基金の上積み

★ 農業の振興

- 基盤整備の促進
- 後継者・担い手への支援

★ 防災力強化

- 災害に強いまちづくり
- 市民の生命・財産を守る
- ライフラインの強靱化

課題山積の奥州市にあって今を生きてる私たちは、まだ見ぬ子や孫にとって良き祖先になれるのかが、問われている時と考えます。全ては、未来の子供たちのために今こそ米百俵の精神を。

市井の声を市政へ



高橋よしゆき

わたしたちの故郷のために

合併したまちだからこそ【つながる・ふれあう心・ともにつくる】
明るく、元気に、前向きに、輝く未来のために!

3つのキーワード

- 1 人にやさしく
思いやりのある
まちを目指して
- 2 地域の声が
市政に反映できる
社会を目指して
- 3 すべての人が
協調する
そんな明るいまちに

地域を元気にする 具体的な

- 1、人口減少対策と地域活力の維持(振興会と協働)
- 2、医療、健康、福祉の充実(安心して暮らせる環境を守る)
- 3、農業、商業、工業の充実(所得向上を支援)
- 4、教育、保育、子育て支援(地域に根ざした教育)
- 5、快適な生活を支える基盤整備(山間地域でも不便を感じない生活環境を)
- 6、環境、防災対策の推進(自然と共生する地域づくり)
- 7、スポーツ、文化活動の支援

主な経歴

奥州金ヶ崎行政事務組合議長(R4.4～R8.3) 奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H30～R2.3) 奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H26年度～H27年度)
奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H28年度～H29年度) 奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H30～H31.3)
奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H32年度～H33年度) 奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H34～H35.3)
奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H36年度～H37年度) 奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H38～H39.3)
奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(H40～H41.3)



中西ひろし

子育て

- 子育て世代の声を聞いて市政へ
- 01 子育て費用を限りなくゼロに
妊娠前からお子様の高校卒業まで、切れ目のないサポート
 - 02 奥州産の農産物で子育て応援
安心・安全、おいしくて栄養価の高い奥州産の農産物を妊婦さん・子育て世帯に届けるプロジェクト推進
 - 03 地域みんなで見守り育てる
仕組みづくり
「ひとりじゃない子育て」に、訪問型の支援の拡充、親子で気軽に利用できる居場所作り

農業

- 先人が築いた農地とブランド農産物をつなぐ
- 01 攻めの就農・
承継支援
移住、Uターン、事業承継への支援を拡充。若者が農業で「食べていける」環境整備
 - 02 奥州の種を守る
独自の「在来種保全条例」や「地域種子バンク」などにより、種苗の自給自足と食の安全を守る

教育と文化

- 地域の歴史や祭りは私たちの誇り
- 01 文化・伝承をつなぐ
学校・地域・保存会等と連携し、子どもたちが地域の歴史や文化、伝統芸能などを学び、心から誇りを持てる環境作り
 - 02 郷土の誇りを胸に世界へ
大谷翔平選手に続くグローバルな才能を支援する教育を推進

命と安全

- すべての市民が健康で安全に天寿を全うできるまちへ
- 01 健やかに安心して暮らせる仕組みづくりで命をつなぐ
新医療センターの整備や運営に市民の声を反映し、奥州の「安心の拠点」となる取り組み
 - 02 「予防医療」で地域を元気に
健康づくりに取り組んだ方に地域産品クーポンを
 - 03 地域の安全・秩序を守る
不法移民・不法就労問題に対し、関係機関と連携対処し、誰もが安心して暮らせる奥州市に



及川たいすけ

参政党公認

未来の奥州市に夢と希望をもち 力強く前へ進むことができるまちづくり

菅原よしかず 3つの宣言

- 絆で育む『人づくり』
将来を担う子どもたちの子育て・教育環境の整備、まちづくりを担う人材育成と若者の定着のために働きます。
- 活力みなぎる『産業づくり』
地域産業の基盤強化を図り
雇用機会の確保と地域経済の活性化のために働きます。
- 暮らしと賑わいを支える『まちづくり』
地域の特性を生かした賑わいづくりと、健康でいきいきと暮らせる医療・介護・福祉の一体的な体制整備のために働きます。

菅原よしかずのホームページはこちら
<https://ousyu-yoshikazu.net/>



菅原よしかず

奥州市の未来を元気にします

5つの柱 (政策)

- ① 持続可能な農業のカギ
- ② 未来をこつくる教育と文化のカギ
- ③ 命をつなげる医療と福祉のカギ
- ④ 暮らしを守る安心のカギ
- ⑤ 元気あふれる地域づくりのカギ

◇1期4年で取り組んだこと◇
産業経済常任委員会(4年)
議会広報広聴委員会(前期2年)
議会改革検討委員会(後期2年)
奥州金ヶ崎行政事務組合議会議員(4年)
奥州金ヶ崎行政事務組合副議長(後期2年)
市内2JAと農業議員との意見交換会
市長と議員との意見交換会
JA江刺 参与(2年)
玉里振興会 顧問(4年)
米里振興会 参与(4年) など

◇地域で取り組んでいること◇
奥州市消防団第17分団 団員
行山流角懸崖保存会 会員(踊り手)
農福連携の実践 など

菅野いたるの決意

4年前、私が政治を志した原点は、増え続ける空き家や荒れた田んぼ、そして子どもたちの減少という、地域の厳しい現実でした。しかし同時に、そこで懸命に笑顔で暮らす地域の皆様の姿に、私は希望を見出しました。

この1期4年、私は「市民みんなが未来に向かって夢をもてる そんなまちをつくりたい」というスローガンを掲げ、現場を走り続けてまいりました。

奥州市の基幹産業である農業を守るため、市内の2JAとの意見交換会を重ね、議員と農業現場の絆を紡いでまいりました。

また、地域の未来である子どもたちの環境を整えるため、小学校や保育施設の統合が地域にとって前向きな変化となるよう、確実かつスムーズな遂行に尽力しました。

さらに、地域の誇りである郷土芸能の可能性を広げ、心の豊かさや活気を取り戻す活動にも取り組んでまいりました。

私が生まれ育ったこの奥州市を、もっと活気あふれる場所にしたい。

皆様と共に歩んだ4年間の実績を力に変え、2期目も全力で取り組んでまいります。



菅野いたる

ふるさととの未来のために

- ### 及川春樹の政策目標
- 地域産業
地域産業の活性化を進めましょう
*産学官連携による商工・農林業の高付加価値の創造につとめます。
*産業振興による良質な雇用の創出につとめます。
 - 商店街
新しい力で未来の姿を創造しましょう
*新事業創出の促進と子育ての環境整備につとめます。
*事業創出による定住者増の促進につとめます。
 - 新幹線駅
人材交流の起点である駅周辺を活用しましょう
*奥州市の玄関口である水沢江刺駅の利活用促進につとめます。
*駅周辺の環境整備の促進につとめます。
 - 商業・観光
地元にある素晴らしい地域資源に気づきましょう
*見過ごしている地域の魅力を再発見しましょう。
*埋もれている地域の魅力を掘り起こしましょう。
 - 広域連携
国とのパイプ、他地域の議員と連携を深め事業化推進につとめます
*北上川無堤防地帯への築堤促進につとめます。
*県道14号(一関一北上線)の整備促進につとめます。



及川はるき

(56歳)

及川春樹(おいかわはるき)の歩んだ道

昭和44年5月25日生まれ(56歳)
奥州市水沢羽田町出身

■経歴■
平成28年 岩手大学大学院工学研究科フロンティア物質機能工学専攻 攻修了 博士(工学)
平成30年 奥州市議会議員選挙にて当選
現在2期目

建設環境常任委員会 副委員長
市政調査会 副会長
ILC誘致推進議員連盟 幹事長
奥州金ヶ崎行政事務組合議員

令和8年
3月8日執行

奥州市議会議員選挙公報

奥州市
選挙管理委員会

- 教育の未来をつなぐ
ICTを活用した質の高い学びの提供や、不登校児童・生徒への手厚い支援を実現します。
- 街の活気をつなぐ
コンパクトシティ計画を推進し、自然と利便性が共存する住み良い前沢をアピールします。
- 安心・安全をつなぐ
自衛官の経験を活かし、災害に強く、地域が一体となって支え合える防災体制を強化します。

さらなる飛躍!! まちづくりに全力で 未来へつなぐ

- ① 教育支援の充実 ~次世代の笑顔をつなぐ~
・活きた学びの提供: ICTを活用し、海外との交流授業や地元企業による出前授業を実施。
・不登校支援の強化: 各学校区に1つ、児童クラブ等を活用した「不登校児童対応施設」を設置。
・部活動の地域移行: 指導者確保や施設利用料の減免など、諸課題をしっかりと支援。
- ② 活気ある街づくり ~地域の賑わいをつなぐ~
・前沢の魅力をPR: 伝統産業、前沢牛などの食、豊かな自然を活かした体験型イベントで誘客を促進。
・交通インフラの整備: 水沢江刺駅から主要地区を繋ぐアクセス改善と交通網の再整備。
・コンパクトシティの推進: 前沢地域の「徒歩圏内で生活が完結する」強みを移住・定住促進に活かす。
- ③ 安心・安全な街づくり ~命と暮らしをつなぐ~
・防災体制の強化: 避難道路の整備や、地域・学校・行政が連携した避難支援体制の構築。
・消防団の適正化: 訓練の効率化や多様な団員構成など、自衛隊の経験を活かした組織づくり。
・高齢者見守り: 避難困難世帯の把握と、孤立を防ぐ積極的な交流機会を創出。

詳しくはコチラ!!

1978年(昭和53年)3月24日生まれ(47歳)
平成8年県立水沢工業高校(機械科)卒業後、海上自衛隊に入隊。10年間、青森県むつ市にある大湊地方隊所属艦艇で機関科員として勤務。平成18年自動車整備士を以ていた父の独立開業を機に帰郷。家業を手伝いながら整備士資格を取得し、現在はLaLa Autoオノデラ整備主任者として勤務。

主な役職 [現在]

- 前沢中学校運営協議会副委員長
- 前沢ロータリークラブ会長
- 奥州市立前沢中学校女子バレーボール部外部コーチ
- (一社)岩手県バレーボール協会審判委員会委員
- 岩手県小学生バレーボール連盟審判委員長(常任理事)
- (一社)岩手県自動車整備振興会本部教育委員長(兼胆江支部教育委員長)
- (一社)岩手県自動車整備振興会二種養成講習胆江分教場専任講師



小野寺まさる

獣医師として願いあるところへ直行

江刺病院の充実と新医療センターの早期建設を

- 1世帯1万円の国保税引き下げ
- 農業機械更新に補助を
- 国民年金で入れる特養ホーム増床補聴器購入へ補助を
- 中学校まで学校給食費無償化
保育料無料へ
- 公共施設の女子トイレに
生理用品の配置

物価高で暮らしが大変という声にこたえ、中小の事業所への貸上げ支援金(329事業所・712人)の支給、すべての農家を対象とした支援などを実現。高校までの医療費窓口無料化や特養ホームの増床にがんばりました。引き続き、市政の場で働かせてください。

暮らしを支える財源はあります
財政調整基金84億円、国保基金14億円

憲法9条守る
戦争させない

【略歴】1957年、江刺稲瀬生まれ。水沢高、岩手大学農学部獣医学科卒業。江刺市農業共済組合家畜診療所勤務を経て、千葉獣医科を以て、胆江市民商工会会館にて、胆江市民商工会会館 市議会議員3期



日本共産党 千葉あつし

ぶれずに やいとげます!

~市職員と進める市民のためのまちづくり~

この選挙、私は、「ヒト、モノ、カネ、時間」をかけないで闘います。ポスターも作成せず、選挙カーも走らせない、たった一人の俺流の闘いです。

市政運営は、豊富な知識と経験を有する市職員の皆さんと共に考え、課題を解決しながら進めます。議会では、予算を始め全ての議案の賛否には是々非々で臨むとともに、将来世代が安心して奥州市に住み続けられるよう安定した財政基盤の構築を目標に、市職員時代に培った知見を活かし市政を厳しくチェックします。

***** 実現したいこと *****

- 1 新野球場建設へ向け市民等の機運の醸成を図ります
- 2 新医療センター建設は、一旦立ち止まり、改めて市民や関係者と協議します
- 3 メイプル再生事業は、抜本的に見直します
- 4 岩手競馬を盛り上げ、持続可能な経営に資するよう尽力します
- 5 議員定数削減、政務活動費(年額144,000円)の廃止

* 私は、この任期中、政務活動費を受け取っていません

私は、この4年間、常にオール奥州の視点で山積する市政課題に向き合ってきました。この姿勢は、これからも変えません。奥州市により多くの「市民益」をもたらすよう全力で行動します。



あずま隆司

未来を汚さない

聞こえの良い未来・希望にだまされない。未来を奪う過度な開発や投資は要らない、身の丈に合った安心を護ります

周産期医療の復活に取り組みます

和歌山県有田市モデルを参考に周産期医療復活は可能だと考えます市民の皆さん、あきらめないでください。

病院事業の見直しに力を入れます

病院事業の赤字拡大は直近二年で約二倍と過去にない最悪状態です。この状態で新医療センター建設費用109億円は無謀な話。身の丈にあった規模と環境で進めるべきです。

農林業の活性化を進めます

有機農業(オーガニック)の技術進歩は凄まじいものがあります。農業担い手確保と自然環境維持の為に、これからは有機農業の時代です。林業は切って売らなくても、6次産業化を応援します。

結婚支援にもっと力を注ぎます

少子化を止める一番の方法は何といっても結婚支援です。地域おこし協力隊制度を活用した仲人制度・結婚を学ばせよう先生・都市部に目を向けた遠距離見合い移住婚活等に取り組みます。



佐藤まさのり

「農」の心、いのち支える市政へ

まごころ病院の充実 新医療センターの早期建設を

- 財政調整基金や国保基金など、160億円の基金の一部を使い、暮らしを応援
- 国民年金で入れる特養ホームの増床補聴器購入への補助
- 農業機械更新への補助
- 再生産可能な農産物価格の保障
- 胆沢文化創造センターの存続を

国保税 1世帯1万円引き下げ
子ども均等割は無料に
中学校まで学校給食費ゼロに

憲法9条守る
戦争させない

実現しました

- 賃上げ支援金 329事業所 3712人に、1億9千万円を支給
- 高校卒業まで医療費窓口無料に
- 特養ホーム230床整備計画
- 全ての農家対象に支援拡充

【略歴】1957年若柳生まれ、金ヶ崎高・岩手大学農学部卒。胆沢農協臨時勤務を経て、胆江民商顧問。胆沢町議2期、市議5期。



日本共産党 今野ひろみ

佐々木ゆみこは笑顔で頑張ります

教育
のびのび・いきいき
学べる環境を

労働
はたらく者が大切に
される社会に

人と地域がやさしく
「笑顔」でつながるまちに!!

福祉
寄り添い・助け
合える福祉社会に

医療
だれもが安心できる
医療の充実に向けて

女性
さらなる女性活躍の
実現にむけて

文化芸術
つなぐ・創り出す
文化の充実を

私は、JR水沢駅東西通路の橋上化
(エレベーター設置)を求めています



佐々木ゆみこ

令和8年
3月8日執行

奥州市議会議員選挙公報

奥州市
選挙管理委員会



奥州市議会議員候補者 三浦ヒデオ

若いチカラと
ベテランの気合いで

- 住み続けられる地域をつくる「暮らし」
買い物・通院・移動を支える「小さな拠点」づくり
災害時に地域で命を守る備蓄と助け合いの仕組み
- 人が戻る・来る地域へ「人口・移住」
農地転用・農振除外の迅速化・柔軟化
子育て世代・Uターン世代が住める環境整備
- 稼げる地域をつくる「仕事・産業」
農業・畜産・観光をつなぐ地域内経済循環
馬・自然・歴史を活かした体験型観光の推進
- 次の世代につなぐ「教育・地域力」
地域で子どもを育てる仕組みづくり
地域行事・文化・歴史を未来につなぐ

三浦ヒデオの生い立ち
1957年馬車ひきを生業とする家の長男として誕生
将来の夢は漫画家になることだった
1977年東京デザイナー学院卒業、一関市内の印刷会社にデザイナーとして入社。イベントや展示会も手がける
1996年有限会社天悠舎設立、代表取締役となる
2008年NPO法人天遊舎を設立、現在は理事長
2025年4月農家民泊「うまこる牧場」を開業





千葉のりひろ

奥州市誕生20年目の決意！責任世代として、動く！

二十年前、私は合併協議会の事務局員として奥州市誕生に携わりました。その時に語られた多くの希望と夢は、今も奥州市の原点として心に残っています。その想いを胸に、このまちの未来に向き合う決意を固めました。

産み育てる
魅力ある仕事
安心安全
医療
救急
消防
高齢者
通院
買い物
地域の絆
担い手
農業
産業誘致
賑わう
商工業
胆沢ダム湖
市政に届ける
つなげる
住民
若者の声
子育て世代の声

若者が 住みたい、戻りたい、残りたい まちづくり!!

千葉のりひろ (64歳) プロフィール

昭和49年	胆沢町立南都田小学校卒業	平成17年	合併協議会事務局員
昭和52年	胆沢町立南都田中学校卒業	平成18年	奥州市職員
昭和55年	岩手県立水沢高等学校卒業	総務課長	商工観光部長
昭和59年	岩手大学農学部卒業	令和5~7年	奥州金ヶ崎消防本部消防長
昭和60年	胆沢町職員	令和6年~	久須志神社(胆沢) 宮司

家族 妻 母 ココ(トイプードル10歳オス)
趣味 映画鑑賞 ココとの散歩 食料品買い物

好きなもの だんご 餅 あんこ チョコアイス
好きな言葉 「為せば成る！」



菊地じゅん

私の目標 6つの政策

- 農業・商業・工業の振興**
 - 農産・園芸・畜産それぞれの分野における農業従事者の高齢化対策や若手農家の育成を目的とした補助金や研修制度の充実を図ります。
 - 効率化や生産性の向上等図るため、農業・商業・工業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。
 - 最低賃金引き上げや労働条件改善に伴う負担軽減を目的とした助成制度を設け、中小企業や小規模事業者の支援を行います。
- 医療・福祉サービスの充実**
 - 早期発見・予防を重視し、健康教育や定期健診の普及を図ります。
 - 地域医療施設の充実と健全経営を推進します。
 - 児童・高齢者・障がい者福祉等多様なニーズに対応したサービスを提供し、誰もが必要な支援を受けられる環境を整えます。
- インフラ整備**
 - 市民の生活基盤を支える上下水道の調査や修理を継続的にを行い、安全で快適な生活環境を維持します。
 - 災害や老朽化により危険な区域の水路や道路の修復・復旧を行い、安全保障と地域の復興を図ります。
- ふるさと納税に係る寄付金の活用について**
 - 各業種の返礼品の数や質、寄付者からの反響を考慮し、事業費の配分を行い、地域の魅力を最大限に引出し、地域経済の活性化に努めます。
- 子育て支援**
 - 子育て世帯への支援策を拡充し、保育環境の整備や経済的支援、子育てと仕事の両立支援などを推進します。
- 北上川治水対策**
 - 赤生津・白鳥堤防の早期完成に向けた取組を行います。

あなたの声を
未来の力に

昭和39年12月生まれ
昭和61年3月 岩手県立農業短期大学
(現岩手県立農業大学) 卒業
昭和61年4月 旧前沢町農協就職
平成28年4月 岩手ふるさと農協畜産課長
令和6年4月 岩手ふるさと農協前沢地域センター長
令和6年11月 北上川東部土地改良区理事



門脇よしひろ

人口減少が進むなか、特に山間地での問題は大きいと実感しています。

公共施設の統合や一般商店の廃業が多い事から、活力が失われると共にすべての面で遠距離の移動が必要となっており、車なしでは通常の生活も難しい状況です。

これ以上の活力停滞を防ぐためにも、新たな生活圏を前向きに検討する事が重要と感じます。

問題解決には長期的期間を要しますが、住民の声と行政サービスを始めとした政策など、お互いに理解し合える一役を担うよう努力して行きたいと思えます。

がんばってる市民が かがやける奥州市

がんばってる市民が、かがやけるまち

奥州市で活動している公益活動団体・振興会・町内会・自治会での活動、市内30地区センターの活動、各スポーツ少年団、スポーツクラブ団体、このような活動をされている皆さんを応援します。

市民の声が届くまち
多種多様な市民ニーズが増える中、それぞれの課題や提案を真摯に受け止め、皆さんとの対話を重ね市政に反映していきます。

市民の願いが叶うまち
地位の特徴を生かし、それぞれ個性のあるまちづくりを目指し、頑張っている皆さんの願いが叶うまちにします。

市民の夢がふくらむまち
後藤新平の大河ドラマ化、プロ野球の試合ができる球場が完成、ワールドカップの招致など夢を語り、みんなが手をつなぎ目標に向かって進んでいけるまちを作ります。



佐藤ながまさ

医療・福祉・教育の充実

三期の実績のもとに地域の均衡ある発展と活力ある奥州市を創ります。

この三期十二年間、奥州市や地域発展のため、市立病院の経営問題・空き家対策・民生委員のあり方・ささらホールのあり方について活動してきました。今後とも市民の皆さんと一緒に明るく・活力ある奥州市実現のために働いてまいります。

三つの重要市政課題

- 奥州市新医療センター建設は立ち止まって見直しを
- 子ども・子育て支援の充実を
- 特養ホーム等高齢者の福祉施設の拡充を

五つの目標

- 将来を見すえた医療・福祉・教育の充実、農・工・商の振興
- 地域の均等ある発展、統一感を強める施策の実現
- 市立病院の赤字改善を
- 行政コストの削減と市民サービスの向上
- 市政と市議会の透明性をステップアップ



及川たすく

(この選挙公報は、候補者から提出された掲載原稿をそのまま写真製版によって印刷掲載したものです。)

令和8年
3月8日執行

奥州市議会議員選挙公報

奥州市
選挙管理委員会

“希望にあふれるまちづくり”をめざして! 市民が主役のまちづくり!! Re:Start!(再出発!) & Challenge!(挑戦!)

「地域医療のネットワーク化」の再構築を実現します!

「新市立病院問題」の解決も含め、私たちが暮らす地域での医療・介護・福祉がバランス良く提供されるよう、改めて県立・民間とも連携した「医療ネットワーク」を構築した上で、安心して入院・介護が受けられるようなまちづくりに、経験とアイデアを活かします!

「防災・治水対策」としての環境整備を!

防災・治水対策としての道路・側溝・橋梁整備だけでなく、「100年安心なまちづくり」の中核にクマを含め「鳥獣被害対策」を据えて、防災環境の早期整備を目指します!

「安心して働き・育てる」環境づくりを!

産休・育休・介護休暇などの労働環境の改善、通院等の経済的負担への支援、子育て支援としての「緊急時サポート事業」導入により「何より子どもにとってより良い環境づくり」の実現を目指します!

消費者目線にも適した農業対策を!

奥州市の基本である農業と、農産物を活用した「奥州ブランド」のさらなる海外へ販路拡大を積極的に推進する事業プランを実現します!

「透明で公正なまちづくり」の実現を!

私たちが暮らすこの地域の特性を活かしたまちづくりのために、行政の徹底した情報公開とリスク管理を求め、「公正で明るいまちづくり」の実現を目指します!

参加できる「まちづくり」を!

再編・整理後の施設も活用した「誰でも自由に使える、参加できる空間づくり」によって次世代がさらにパワーアップする環境を目指します!

「お祭りプロジェクト」推進!

大勢の若者が集まるまちづくりにのために、市が一体となって学生・サークルの合宿を積極的に受け入れ、イベントを開催する「お祭りプロジェクト」によって、奥州市をさらに活性化します!

「安心・安全なまちづくり」をめざして!



鈴木まさひろ

平和・くらしを守る 政治家の原点に立って

力合わせて実現しました

- 賃上げ支援金 329事業所 3712人に、1億9千万円を支給
- 高校卒業まで医療費窓口無料に
- 特養ホーム2300床整備計画
- 全ての農家対象に支援拡充

憲法9条を守る 戦争させない

- 国保税 1世帯1万円引き下げ 子どもの均等割ゼロへ
- 中学校まで給食費無償化 保育料ゼロ、学童待機者ゼロ
- 国民年金で入れる特養ホームの増床 補聴器購入へ補助を
- 米農業機械購入への補助 価格保障、所得補償で農家支える
- 公共施設の女子トイレに生理用品を

【略歴】●1950年生まれ、水沢高。岩手大学教育学部卒、岩手通運勤務を経て、農民組合専従。日本共産党中部地区委員長、同岩手県委員会書記長を歴任。市議2期



日本共産党
せがわ 貞清

新医療センターの早期建設を

加藤きよしの政策目標

- 医療、福祉、教育**
 - 誰もが安心して暮らせる医療体制の充実
 - 全ての子ども達が未来に羽ばたける教育、保育の充実
 - 安心して子どもを産み育てられる環境の構築
- 地域経済の振興**
 - 農業振興プランの具現化に向けての政策の推進
 - 企業誘致による新たな雇用の促進
 - 商店街活性化に向けた政策の提言
- 行財政改革**
 - 公平性、効率性を基本とした行政運営
 - いまに生きる市民のため、さらに次世代に負担を先送りしない財政の健全化
 - 官民連携による新たな政策の具現化
- 行政の信頼に向けて**
 - 市政の透明化は必要不可欠
 - 物言わぬ市民（サイレントマジョリティー）の声をいかに捉えるか

市政発展に向け歩みを進めてまいります

加藤清（きよし）のプロフィール

昭和22年6月15日生まれ	胆沢町立若柳中学校PTA会長 4年	産業経済常任委員会委員長
現住所：奥州市胆沢若柳字清水393	胆沢町農業協同組合理事 6年	建設環境常任委員会副委員長
学歴：昭和41年3月 岩手県立水沢農業高等学校卒業	胆沢町議会議員 1期	議会改革検討委員会副委員長
	若柳公民館長兼地区センター長 2年	奥州市議会議員 4期
	奥州市監査委員 4年	奥州市議会副議長



加藤きよし

(78歳)

新しい地域づくりへ全力!

人と人とのつながりを創ります!!

- 未来を支える安定した財政運営
- 誰一人取り残さない 災害ケースマネジメントの実践

- 食と農による地域振興、中小企業振興
- 「住んでよし・訪れてよし」の観光地域づくり
- 「チーム学校」の体制づくり
- 平和啓発活動の継承
- SDGsの推進による気候変動対策
- 歴史・文化資源の魅力向上

市民相談 2,100件超! 推進! これまでの主な実績

- | | | |
|--|--|----------------------------|
| 財政基盤の確立 | 平和を守る取り組み | 地域防災力の向上 |
| ● 財政規律の堅持、減債基金への計画的な積み立て、地方公債の活用など将来に向けた持続可能な財政運営を推進 | ● 平和学習の一環として、戦没者追悼式へ小中学生の参列を推進 (令和7年) など | ● 奥州市防災士会「絆」を設立 (平成30年) など |
| 福祉政策の拡充 | 各委員会での活動 | その他の実績 |
| ● 前立顔がん検診の推進 (平成25年) | ● 「おもしろい地産地消わくわく条例」の制定を推進 (平成30年) | ● 公共工事の発注の平準化を推進 (令和2年) など |
| ● 妊婦健診15回目の公費助成を推進 (平成31年) など | ● 「おもしろまるかじりの日」の命名 など | |

経歴 昭和36年 奥州市前沢古城生まれ 65歳
水沢商業高校、法政大学法学部政治学専攻卒業。岩手リコー株式会社(現リコージャパン株式会社)に入社し、25年間勤務。平成22年3月奥州市議会議員選挙で初当選。現在4期目。建設環境常任委員会委員長、広報委員会委員長、産業経済常任委員会委員長などを務める

資格 防災士、防災救助士



公明党公認
いざか かずや

これまで二期にわたり市議会議員として活動を続けてこられましたのは、地域の皆さまお一人おひとりの温かいご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

人口減少や高齢化、防災、地域産業の維持など、私たちを取り巻く課題は年々重みを増しています。だからこそ、**現場の声、とりわけ中山間の声を市政へ確実に届ける責任を強く感じます。**

「住み続けられるまち」「安心して暮らせる地域」を次の世代へつなぐため、これまでの経験を生かし、三期目への挑戦を決意いたしました。これからも皆さまと共に歩み、地域の未来を切り拓いてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

- ### 私の公約
- 1. 農林業を未来へ!**
スマート農業推進と林業活性化で、稼げる地域産業を育てます。
 - 2. 命と暮らしを守る!**
自然災害対策とクマ・イノシシ等の害獣対策を強化します。
 - 3. 安心の福祉・医療を守る!**
高齢者支援の充実、地域医療の確保、子育て支援を前へ。
 - 4. 地域を元気に! 交流を拡大!**
スポーツと地域資源を活かし、人が集まるまちづくりを進めます。
 - 5. ILC誘致で未来を拓く!**
世界最先端研究施設の誘致で、夢と経済効果を地域に。



高橋ひろし

重点公約10の約束

未来へつなぐ、地域の希望と安心。

- ① 教育改革**
一人ひとりに合った、最もよい学びと支援を受けられる教育へ
子どもが主人公の学びへ
● 学校を地域の拠点とし、子どもの主体性と権利を尊重する教育
● 対話大切に、子どもの声が生きる学校づくり
● 学びの多様化の推進 (多様な学び方・場所、学びの多様な学校・不登校支援)
● 校則の見直しと、安心して過ごせる居心地のよい学校環境
● 教職員の働き方改革と、一人ひとりに向き合える体制整備
● ICTを活用し、今の時代に合った学びへの更新
- ② 子育て・福祉**
ママの笑顔が絶えない子育てが楽しい街へ
全ての子どもと親が安心して暮らせる社会を目指します
● 産前産後ケア拡充と切れ目のない支援
● 奥州市版ネウボロ制度の確立
● 働く親への支援・孤立しない環境づくり
● 学習支援の充実 (全ての子ども対象)
● 多世代の産後サポート
● 重層的支援体制の強化
- ③ 医療・健康**
健康増進を推進し、笑顔で暮らせる地域へ
命と暮らしを守る持続可能な医療体制と連携強化
● 新医療センター計画の見直し (情報公開・対話前進)
● 出産環境の整備・小児医療の充実
● 医療、介護と地域の連携の強化
● 「元気であってほしい」という声、発信
● 地域福祉人材確保・育成 (コミュニティナースなど)
- ④ まちづくり**
【人と星スター】が光るまち奥州へ
奥州市の花は桜。5枚の花びらのように、水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川、5つの地域それぞれが主役です。
天文観測のまち水沢 賢治が愛した星空の江刺 前沢牛と星空の前沢 清らかな水と星空の胆沢 日本一の星空を誇る衣川 5つの地域の光が星となり結ばれ、奥州は「桜産(チェリープロダクション)」という星産になりました。人づくりを軸に、オール奥州のまちづくりを進めます。
● 人づくりと地域対話 ● 観光・関係人口創出
● 5地域をつなぐまちづくり
- ⑤ 市民参加・行政改革**
市民とともに進める市政へ
● パブリックコメント・市民対話充実
● 市民参加型政策づくり
● OX(AD)活用による声の見え易化
- ⑥ 防災インフラ**
ユニバーサルデザインの視点
バリアフリー化、点字ブロックの整備
- ⑦ 交通・移動支援**
デマンド型交通活用
安心移動社会
- ⑧ 産業・人づくり**
地域資源を生かし
挑戦する人材育成
- ⑨ 農業**
農業を地域の力
次世代産業へ
- ⑩ 鳥獣被害対策**
農作物を守り
自然と共存



しいと直美
しいと直美

令和8年
3月8日執行

奥州市議会議員選挙公報

奥州市
選挙管理委員会

みんながいつもと変わらない暮らしのできる地域に

暮らし働く
高齢者子ども
社会生活

- ▶ 農業・農村を後世に引き継ぎ地域が元気に暮らしていく政策を進めます
 - ・担い手農家への支援を求めます。
 - ・若者、中高年の雇用拡大に取り組みます。
 - ・最低賃金引き上げ、就労者の労働時間の短縮に取り組みます。
 - ・企業誘致や新たな雇用の場の確保を進めます。
 - ・市内大学生の奨学金返済の負担軽減を求めます。
- ▶ お年寄りや子どもたちが安心して暮らしていく政策を進めます
 - ・高齢者の健康づくりの推進を求めます。
 - ・介護保険サービスの拡充を求めます。
 - ・子育て家庭への支援の拡充を求めます。
 - ・保育料の軽減、子どもの貧困対策に取り組みます。
- ▶ 地域のみんが、安心して暮らしていく政策を進めます
 - ・物価高騰対策として生活必需品の支援を求めます。
 - ・地域の資源・特性を活かした地域振興を進めます。
 - ・道路など地域の生活基盤の改善を進めます。
 - ・地域の環境政策の充実を求めます。
 - ・鳥獣被害対策を進めます。

生年月日：1963年(昭和38年)7月3日生 現住所：奥州市江刺梁川字沢田275-2

【略歴】
1982年3月 岩手県立黒沢尻北高等学校卒業
1982年4月 岩手県に入職
労働行政、地域振興、中小企業支援、観光振興、環境衛生、母子福祉など県政全般に携わる。
2022年3月 岩手県を退職

2022年4月 連合岩手事務局長(労働組合のナショナルセンターとして労働者の処遇改善に尽力)
《地域活動》梁川小PTA会長、江刺東中同窓会長、梁川行政区(6区)体育部長などを経験。



この
今野よしふみ
(62歳・無所属・新人)

県議2期・市議6期の経験を生かし いのちと暮らしの危機に立ち向かいます



日本共産党
千田みづ子

- 新医療センターの早期建設
- 国保税1世帯1万円引き下げ
 - 子どもの均等割ゼロへ
 - 中学校まで給食費無償化
 - 保育料無料、学童保育待機者ゼロ
 - 国民年金で入れる特養ホームの増床
 - 農業機械買い替えへ補助を
 - 農家の所得補償・価格保障
 - ジェンダー平等をすすめます
- 市幹部職員・各種委員会へ女性登用
- 共産党市議団の実績
- 賃上げ支援金 329事業所 3712人に、1億9千万円を支給
 - 高校卒業まで医療費窓口無料に
 - 特養ホーム230床整備計画
 - 全ての農家対象に支援拡充

【略歴】1954年生まれ。宮城県立農業短大卒。1974年～20年間水沢市役所勤務。県議2期、市議6期

財政調整基金や国保基金など160億円の基金の一部を、市民の願い実現の財源へ。

憲法9条守る 戦争させない

希望あふれる奥州市へ

佐藤かつやの基本政策

- ◆ 観光で地域の活力を発展させる
奥州市の観光資源の情報発信、ブランド化を強化し地域経済の活性化を図ります。観光地域づくり法人の設立も構想します。
- ◆ 地域の活力をさせる観光・農業・商工業連携の推進
地元の魅力をつなぎ、「食・技・自然」を生かした地域ブランドを育てにぎわいのある地域をつくります。
- ◆ 次世代に希望をつなぐまちづくり
少子化に対応し、若い世代も安心して子育てできる環境を整え、未来へ希望をつなぐまちづくりを育んでいきます。
- ◆ 障がい者・高齢者福祉・地域医療の充実
誰もが安心して暮らせる奥州市を実現するために、福祉サービス等の体制強化を進めます。また、住みなれたまちで安心して医療が受けられる環境を整備していきます。



佐藤かつや

ひとりの声を大切に



公明党公認
あべかよこ

市民相談件数 3,600件を超える！ 今期4年間の主な実績

2022年【令和4年】

- 子宮頸がんワクチン接種のキャッチアップの対象者3,200人に個別通知を実現
- 妊婦タクシー助成券を2枚から4枚に倍増し、自己負担ゼロを実現 など

2023年【令和5年】

- 人工内耳用電池を障がい者日常生活用具付事業に追加を実現
- オストメイトが公衆浴場を利用することの理解を推進
- スクールバス、園バス等への子どもの置き忘れのための安全装置設置の実現 など

2024年【令和6年】

- 軟骨伝導イヤホンの市役所福祉課の窓口設置を実現
- 結婚新生活支援事業の実現(条件あり30万円が70万円)
- 女性に配慮するためAED使用時に三角巾を配備 など

2025年【令和7年】

- 5歳児健診の取り組みを推進
- 災害時のペットの同行避難を推進
- 誰でも通園制度総合支援システムの実現 など

目指します!! 多様性を認め合う **ダイバーシティまちづくり**

- 1 安心・安全な暮らし**
 (防災) ● 避難所環境の改善 など
 (犯罪・交通事故の防止) ● 犯罪被害者等に寄り添う取組み ● 交通事故の防止(包摂社会・多様性尊重) ● 全てのハラスメントの防止 など
 (予防医療) ● 予防医療の推進(フレイル予防、検診推進、予防接種の拡充)(ペーシック・サービス) ● 単身世帯でも安心して暮らせる地域づくり など
- 2 活力あふれる地域づくり**
 ● 個人の尊厳を守り自分らしく輝ける地域
 ● 関係人口の拡大。地域資源の更なる活用
 ● 若者の活動支援 ● 女性リーダーの比率向上 など
- 3 教育・子育て支援**
 (教育) ● 経済格差で学びが左右されない教育の保障 など
 (子育て) ● 子育ての経済的負担軽減
 ● 障がい児や医療的ケア児とその家庭支援 など

プロフィール
本籍 奥州市水沢黒石町 昭和36年7月生まれ
職歴 シオン子製菓、ホーミング前沢店、社会福祉協議会ホームヘルパー
経歴 水沢市議会議員初当選 平成15年4月 連続6期出選(水沢市議1期、奥州市議5期)
令和元年9月 放送大学 卒業(国会活動との両立で学位)
令和3年9月 盛岡医療福祉専門学校 社会福祉士・通信教育コース 修了

あべかよこHPはコチラから

私は奥州市の職員として25年間勤務してまいりました。父の他界を機に、家業の農業を引き継ぐため退職し、現在就農2年目です。たくさんの方々に出会ってまいりましたが、やはり皆さんが気にしていることは、将来に対する【不安】です。仕事、地域、少子高齢化による人とのつながりなど、たくさんの方に不安を抱えていると、私は感じました。今までの市役所職員としての経験を活かし、安心して暮らせる地域づくりをしたい、私はそう思っております。皆さんの声を聞きながら、歩いて、一緒に考え、行動してまいります。



奥州市議会議員候補者
岩渕ひでひろ

- 見て、聞いて、みなさんの声を届けます
- こんなまちづくりを目指します
- 農業と食が誇れるまちへ
 - 安定経営・新規就農・若手就農への支援
 - 地産地消・地産外商の推進
 - 福祉・子育て・教育環境の充実したまちへ
 - 支援を必要としている人に優しい環境の構築
 - 出産・子育てがしやすい環境の整備
 - 生涯に渡り、学びを続けられる環境の支援
 - 住み続けたいまち、選ばれるまちへ
 - 安心安全な住環境の整備
 - 定住・移住促進の強化

何よりいのち 子育て世代の代表として 救急、小児科、高齢者医療を支える 新医療センターは早く建設を



日本共産党
佐藤みゆき

- 国民健康保険税の負担軽減
1世帯1万円引き下げ 子どもの均等割ゼロ
 - 学校給食費、保育料、学童待機者ゼロ
 - 国民年金で入れる特養ホームの増床
補聴器購入へ助成を
 - 市の臨時職員の待遇改善
 - 公共施設の女子トイレに生理用品を
 - 憲法9条守る 戦争させない
- 力合わせて実現しました
- 賃上げ支援金 329事業所 3712人に、1億9千万円を支給
 - 高校卒業まで医療費窓口無料に
 - 特養ホーム230床整備計画
 - 全ての農家対象に支援拡充
- 【略歴】1980年、水沢佐倉河生まれ、専大北上高、盛岡短期大学卒業、あけぼの幼稚園、姉妹幼稚園勤務。医療を考えるパパママの会共同代表。市議1期

令和8年
3月8日執行

奥州市議会議員選挙公報

奥州市
選挙管理委員会

地域が輝く、人が輝く
誇りある郷土のために!

未来に責任を持つ市政

豊かなふるさと シン・奥州市を目指して!

私の基本姿勢

- 医療・福祉 命と暮らしを守る医療政策
- 教育 地域で育てる奥州の未来に
- 観光 奥州市の魅力を活かした地域の躍動
- 地域・創生 地域の力を最大化する奥州市型まちづくり
- 産業・生活 仕事と暮らしが両立できる奥州市
- 学術・歴史遺産 学術研究拠点と文化資源を核とした都市機能の強化
- 都市戦略・発信 シティプロモーションを中核に据えた都市戦略の再構築
- 伝統・文化 伝統と創造が息づくまちを次世代へつなぐ
- 経営 決断を先送りしない自治体経営
- 改革 奥州市の未来に責任を持つ議会改革



TAKAHASHI Susumu 63歳
高橋ススム

徹底的な議会改革 ~議会をもっと身近に~

議会改革に終わりはありません。定数・報酬の適正化の判断は避けては通れません。議員間討議を充実させ、結論ありきではない議論する議会にならなければなりません。そして議会の見える化をいっそう図ることによりその姿を示して、さらには議会モニター制度を導入するなど市民から評価される議会づくり、なによりもっと身近な議会にならなければなりません。議会改革は議員だけではできません。どうか皆さんのお力をお貸しください。

人と人がつながるまちづくりを

デジタル地域通貨の導入

デジタル地域通貨がもたらす効果はさまざまありますが、人と人とのつながりの形成が最たるものだと考えます。いまだ合併のしこりが感じられる奥州市において、市民が誰でも共通して使えるツールとしてデジタル地域通貨を導入することで統一感が醸成しやすくなると思います。

地域コミュニティの再生

役員のなり手不足であったり、人間関係そのものが希薄になりつつあります。その理由は地域ごとに異なりますが、その複雑に絡みあった縄をほどいていく手助けに行政がどう関わっていくか。それが問われる時代です。

子どもたちに多様な社会体験を

地域社会全体で子どもたちへ多様な体験を提供することが重要です。それが最終的にはふるさとを愛する心を育むことにつながります。休日どこか遠くに行くよりも、画面の向こうより楽しい体験を、このまちで整えていく必要があります。

合併から20年。次の20年を一緒に築いていきましょう!



小野の
小野ゆたか
(48歳)

小野ゆたか プロフィール

昭和52年4月16日生まれ(48歳)
水沢高校→日本大学経済学部卒

◆議会活動◆
所属党派 新奥会代表
議会運営委員会副委員長 (R4.3~R6.3)
委員長 (R6.3~)

◆現在◆
水沢ユネスコ協会会長
特定非営利活動法人夢追座
子どもの未来を輝かす「群」の会
水沢地区子ども会育成会副会長
奥州はっぴー軒連会委員
奥州市協会のまちづくりアカデミー 1期生

◆これまでの活動◆
水沢寺子屋リーダー (中学1年~高校3年)
水沢ジュニアリーダーズクラブ JUMP初代会長
子どもの居場所事業スタッフ
水沢区地域協議会委員 (H24~H27)
奥州市協会のまちづくりアカデミー 1期生
内閣府子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業青年リーダー 研修会1期生

これから先の話をしよう

市政を **アクティブ** に

5つの目標を線で結び、大きなストーリーにしたまちづくり

地域医療の充実

「市内で出産をあきらめない」まちへ。地域医療の現状に強い危機感を持ち将来を見据えた体制づくりに取り組みます。

人口減少対策

「住み続けたい、戻りたい」と思えるまちへ。住民の満足度を高め、地域の魅力を内外に発信し、U・Iターンの促進につなげます。

子育て・高齢者・福祉

「困ったときに支援につながる」まちへ。制度があっても届いていない福祉を見直し声を上げていく立場に寄り添う体制を強化します。

農業・インフラの拡充

「農業を続けられる」まちへ。一次産業の販路開拓と収益向上を支え、道路整備や街路灯設置など暮らしと移動の利便性向上を進めます。

新しいチャレンジ

「人と人、地域と地域をつなぐ」まちづくりへ。全国での音楽活動やラジオ、イベント企画、司会の経験を活かし、柔軟な発想と発信力で可能性を広げます。

若者が一度ここを離れてもたくさん学んで経験しそして戻ってきてほしい。そう思えるまちづくりを進め若者が大いに活躍できる場をつくらうではありませんか。

岩瀨たかのり プロフィール

1977年…前沢町古城生まれ(父・功、母・京子)。姉妹小学校、前沢中学校、水沢高校を卒業し、ロックバンド「デストロイズ」を結成。CD3枚を全国リリース。/2006年…帰郷、奥州エフエム放送に入社し19年勤務。「アクティブたかのり」の通称で「モーニングナビゲーション」などに出演。CMや番組制作、イベント司会などを担当。/2025年…父の跡を継いで農業に専任。母、妻、子ども3人の6人家族。



いわぶち
岩瀨たかのり
(48歳)

基本姿勢

若者も高齢者も希望にあふれる
奥州市を目指します。



千葉やすひろ

- 地域の声で動く市政
◎安心して暮らせる地域づくり
- 1 出産、子育てしやすい環境づくり
 - 2 高齢者、障がい者に優しいまちづくり
 - 3 必要な時に必要な医療や介護が受けられる環境整備
 - 4 地域課題への積極的な取り組み
- ◎地域を担う後継者づくり
- 1 若者の意見を市政に反映
 - 2 産業振興による若者の働く場の確保
 - 3 農業の後継者及び農地の維持管理への対策
 - 4 未婚者対策の推進
- プロフィール
昭和二十九年 前沢区赤生津生まれ。七一歳
岩手県立水沢工業高等学校卒
水沢郵便局・伊出局・江刺局に四二年間勤務
平成二七年定年退職。以降農業に従事
平成三十年より奥州市市議会議員を二期務め現在に至る
自宅 奥州市前沢区古城字沖屋敷十六
家族 本人・妻・母 3人家族
趣味 空手二段

○選挙に関するお問い合わせ

- 選挙時には電話等による問い合わせが集中します。
- よくあるお問い合わせをホームページにまとめていますので、まずはご覧ください。



市ホームページ「選挙の時によくある問い合わせ」
ページID: 11502

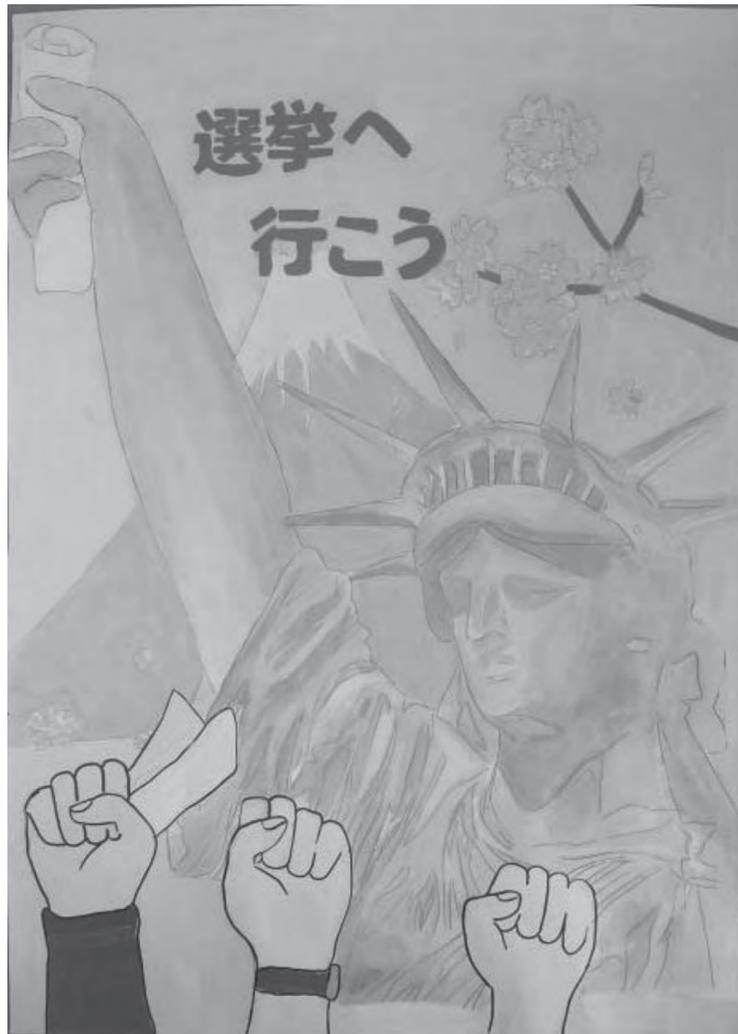
- ホームページでお答えしている問い合わせの例
- ◇投票所の場所はどこか知りたい (地図を見たい)
 - ◇不在者投票をしたい
 - ◇郵便 (在宅) で投票できる制度はないか
 - ◇投票所までの移動支援について知りたい …など



令和7年度「明るい選挙啓発ポスターコンクール」 応募作品



東水沢中学校 3年 小岩凜さん
こいわりん



前沢中学校 3年 及川穂華さん
おいかわほのか

～ 投票所に設置している物品のご案内 ～ 必要な方は事務従事者にお声掛けください

老眼鏡



車いす



点字器



投票用紙をすべりにくくするシート
(記載台に設置)



コミュニケーション
ボード



何かお手伝いできますか？



投票用紙の書き方



投票用紙記入補助具



記載する欄をはっきり
確認できるようにする
補助具です

当日投票所一覧

水沢地域

投票区	投票所	所在地
水沢第1	奥州市役所	水沢大手町一丁目1番地
水沢第2	水沢体育館	水沢中上野町1番 85 号
水沢第3	奥州市総合福祉センター	水沢南町5番 12 号
水沢第4	水沢武道館	水沢秋葉町 24 番地3
水沢第5	奥州市水沢地区センター	水沢字聖天 85 番地2
水沢第6	ふくわら担い手センター	水沢字町裏 75 番地3
水沢第7	奥州市水沢南地区センター	水沢大鐘町二丁目 12 番地
水沢第8	花園集会所	水沢花園町二丁目5番4号
水沢第9	奥州市常盤地区センター	水沢台町2番 12 号
水沢第10	瀬台野交流館	水沢真城字町屋敷 54 番地2
佐倉河第1	奥州市佐倉河地区センター	水沢佐倉河字西沖ノ目4番地1
佐倉河第2	生活環境伝承センター	水沢佐倉河字権現堂 14 番地5
真城	奥州市真城地区センター	水沢真城字柿ノ木下 99 番地
姉体	奥州市姉体地区センター	水沢姉体町字宿8番地3
羽田	奥州市羽田地区センター	水沢羽田町久保9番地
黒石	奥州市黒石地区センター	水沢黒石町字鶴城9番地2

江刺地域

投票区	投票所	所在地
岩谷堂第1	奥州市役所江刺総合支所	江刺大通り1番8号
岩谷堂第2	江刺総合コミュニティセンター	江刺岩谷堂字下惣田 290 番地1
江刺愛宕	奥州市江刺愛宕地区センター	江刺愛宕字宿 98 番地1
田原	奥州市田原地区センター	江刺田原字深沢 166 番地1
藤里	奥州市藤里地区センター	江刺藤里字上長沢 27 番地
伊手	奥州市伊手地区センター	江刺伊手字西風 54 番地
米里	奥州市米里地区センター	江刺米里字八幡 72 番地1
玉里	奥州市玉里地区センター	江刺玉里字青篠 199 番地3
梁川	奥州市梁川地区センター	江刺梁川字日ノ神 90 番地
広瀬	奥州市広瀬地区センター	江刺広瀬字柿ノ木 443 番地4
稻瀬	奥州市稲瀬地区センター	江刺稲瀬字谷地 16 番地1

前沢地域

投票区	投票所	所在地
前沢第1	奥州市役所前沢総合支所	前沢字七日町裏 71 番地
前沢第2	前沢勤労者研修センター	前沢字五合田 19 番地5
前沢第3	奥州市古城地区センター	前沢古城字東見寺下 290 番地
前沢第4	奥州市白山地区センター	前沢白山字古宿 37 番地3
前沢第5	奥州市生母地区センター	前沢生母字羽場 69 番地1

胆沢地域

投票区	投票所	所在地
胆沢第1	奥州市若柳地区センター	胆沢若柳字相馬檀 144 番地
胆沢第2	奥州市胆沢愛宕地区センター	胆沢若柳字愛宕 155 番地
胆沢第3	奥州市小山地区センター	胆沢小山字道場 40 番地1
胆沢第4	二の台公民館	胆沢小山字細入 193 番地
胆沢第5	上笹森交流館	胆沢小山字北笹森 27 番地2
胆沢第6	奥州市南都田地区センター	胆沢南都田字塚田 126 番地8

衣川地域

投票区	投票所	所在地
衣川第1	奥州市北股地区センター	衣川小田 212 番地
衣川第2	奥州市役所衣川総合支所	衣川古戸 64 番地4
衣川第3	奥州市南股地区センター	衣川沼野 38 番地9
衣川第4	奥州市衣里地区センター	衣川富田 44 番地1

※選挙当日は、投票所入場券に記載されている投票所でなければ投票できません。